



JA種子屋久 第13回通常総代会開催！！



▲挨拶を行う
鮫島忠雄組長

「6月28日」中種子町の種子島こり
くなどで、『第13回通常総代会』を開
催し、総代をはじめ関係者の方々が
多数出席しました。

開会にあたり鮫島忠雄組合長より
『種子屋久管内の農業は、9月末の
台風24号の塩害等により、農産部門
では、全体的に低単収の年でありま
した。特に、さとうきびについては、
単収・糖度ともに平年を下回り、厳
しい状況が続いている中、取引単価
については、交付金は引き上げられ
たものの原料代が下がり総じて厳し
い結果となりました。畜産部門につ
いては、子牛の高値基調は続いてい
る状況の中、管内の繁殖雌牛頭数は
微増が続いており、畜産経営は比較
的安定している状況であります。
次年度以降も引き続き、農業の再
生産に繋がる対策を関係機関と連携
し取り組みを進めて参ります。
農協改革については、自己改革の
総仕上げの年度として、「農業者の
所得増大」「農業生産の拡大」「地域
の活性化」を基本目標とした自己改
革の実践を、組合員・地域住民との
共有化により進めてきました。
中でも、平成30年度は、農業者の

所得増大と生産拡大を主眼にし
た、農家経営支援センターによ
る声を聴く運動の展開により、
組合員の負託に応えられる総合
事業を展開してきました。今後、
検討されていく「5年後検討条
項」の准組合員の事業利用規制
導入を断固阻止するため、更な
る自己改革を進めて参りますの
で、組合員の皆様のご理解をよ
ろしくお願いいたします。

農産物の減収による農業再生
産に対する支援対策の期中での
実施により、当期末処分剰余金
については、1億2千8百万円
の計上となりました。

これを受け、出資配当ならび
に次年度対策等を考慮した、剰
余金処分案をご提案致します。』
と挨拶がありました。

販売・購買部門の表彰が行わ
れた後、西之表市の杉為昭さん
を議長に、平成30年度事業報告
や令和元年度事業計画など10議
案について審議がなされ、全て
原案通り承認されました。

【令和元年度基本方針】

わが国の経済は、個人消費の
持ち直しや設備投資の増加等に
より、緩やかな回復基調が続く
ことが期待されるものの、10月
に予定されている消費税率の引
き上げの影響により、個人消費
が減少することで成長率は鈍化
すると見込まれています。

